

伝国の杜 こども狂言クラブの一年



「山形県能楽の祭典」出演

平成 25 年 9 月 8 日（日）

伝国の杜こども狂言クラブは、平成 25 年 9 月 8 日（日）に伝国の杜・置賜文化ホールで開催された「山形県能楽の祭典」に出演しました。こども狂言クラブから 7 名が出演し、和泉流の狂言を披露しました。

「山形県能楽の祭典」は、山形県内各地の各流派の能楽愛好者が、能や狂言などの能楽を披露する場です。

金剛流、観世流、喜多流の連吟、仕舞、素謡、舞囃子などが披露される中、こども狂言クラブも狂言を発表しました。

◆ 演目

小舞「宇治の晒」

小舞「暁」

狂言「佐渡狐」

◆ 小舞「宇治の晒」





発表を終えた後に、小学3年生の女子児童に感想をお聞きしました。

Q. 小舞「宇治の晒」の発表はいかがでしたか？

A. リハーサル 때는、声出しなどうまくできなくて、息も合わなかったのですが、本番では3人とも息がぴったりで声出しもできたので良かったです。

Q. 次の活動の目標はありますか？

A. 間違いを直したり、もっと上手に出来るようになりたいです。

◆小舞「暁」



◆狂言「佐渡狐」





“越後の百姓”を演じた中学1年生の女子生徒に感想をお聞きしました。

Q. 狂言「佐渡狐」の発表を終えて、自分で評価をつけると、100点満点中何点でしたか？

A. 100点満点中、70点くらいです。

Q. 残りの30点は、どんなところが満足いきませんでしたか？

A. セリフが詰まってしまう、思い出すまでに間が空いてしまったことや、間違えてしまった部分がありました。

Q. 良かった部分はありますか？

A. 狂言「佐渡狐」を演じている最中に、客席から笑いが起きていたと聞いて、普段あまり笑われることが少ないので、ストーリーが客席に伝わり、笑いが起きたことは嬉しいです。

—狂言「佐渡狐」は笑いを誘う面白いお話ですね。観劇するたびに上手に演じられており、上達を感じられ、狂言はやっぱり面白いと思いました。発表の機会を次回に繋げ、これからのご活躍も期待しています。



こども狂言クラブは、発表の機会が多くあり、発表のたびに子どもたちの上達を感じられ、堂々と演じ切る姿はとても立派だと思います。



○取材日 平成25年9月8日（日）
詳細：「[山形県能楽の祭典](#)」出演
会場：伝国の杜・置賜文化ホール

○取材協力 伝国の杜こども狂言クラブのみなさん
公益財団法人米沢上杉文化振興財団 伝国の杜・置賜文化ホール

○執筆編集 置賜文化フォーラム編集員 佐藤道代